

科目番号	63	科目名	薬学概論(Y)	
英 文 科 目 名	Introduction to Pharmacy (Y)			
大学・短期大学名	立命館		大学	
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1			
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935
担 当 教 員	浅野 真司 ほか9名 (薬 学 部 教 授)			
教 室 名	ラルカディア102	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス	
授 業 期 間	2021 年 4 月 6 日 (火) ~ 2021 年 7 月 20 日 (火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考口			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%
	レポ ー ト 試 験 (期 末)			%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	100		%
	そ の 他 ()			%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項				
<講義概要・到達目標>				
【授業の概要と方法】				
薬学部薬学科に入学した学生に対する「導入科目」と位置づけ、6年間の学び全般について概説する。まず「薬学とは何か」、「薬学科6年制の意味するところ」、「薬学科での学びの全体像」について説明する。そして、「生命の尊厳」、「医療倫理」、「生命倫理」、「薬とは何か」、「どのように作用するか」、「薬は体内でどのような運命をたどるか」、「薬剤師の職務・責任、活動分野」、「薬害」、「医薬品の開発」、「チーム医療とコミュニケーション」、「医薬品開発」、「治験」、「社会保障と保険医療」、「薬剤師として求められる資質」などについて概説する。				
【到達目標】				
A 基本事項				
・薬剤師の使命 医療と薬学の歴史を認識するとともに、国民の健康管理、医療安全、薬害防止における役割を理解し、薬剤師としての使命感を身につける。				
・薬剤師に求められる倫理観 倫理的問題に配慮して主体的に行動するために、生命・医療に係る倫理観を身につけ、医療の担い手としての感性を養う。				
・多職種連携協働とチーム医療 医療・福祉・行政・教育機関及び関連職種の連携の必要性を理解し、チームの一員としての在り方を身につける。				
・自己研鑽と次世代を担う人材の育成 生涯にわたって自ら学ぶことの必要性・重要性を理解し、修得した知識・技能・態度を確実に次世代へ継承する意欲と行動力を身につける。				
B 薬学と社会				
人と社会に関わる薬剤師として自覚を持って行動するために、保険・医療・福祉に係る法規・制度・経済、及び地域における薬局と薬剤師の役割を理解し、義務及び法令を遵守する態度を身につける。				
・薬剤師と医薬品に係る法規 調剤、医薬品等(医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器、再生医療等製品)の供給、その他薬事衛生に係る任務を薬剤師として適正に遂行するために必要な法規とその意義を理解する。				
・社会保障制度と医療経済 社会保障制度のもとで提供される医療と福祉について、現状と課題を認識するとともに、薬剤師が担う役割とその意義を理解する。				
【成績評価方法】				
レポート(3回)を提出する(75%)。 15回目に理解度を確認する試験または、これに替わるものを実施する(25%)。				

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	4月6日	薬学とは何か 担当者:浅野真司
2	4月13日	生命の尊厳 担当者:浅野真司
3	4月20日	医療倫理 担当者:浅野真司
4	4月27日	生命倫理 担当者:北村佳久
5	5月11日	薬とは何か 担当者:田中謙
6	5月18日	薬の作用するプロセス 担当者:天ヶ瀬紀久子
7	5月25日	体内での薬の運命(薬物動態) 担当者:桂敏也
8	6月1日	医薬品開発のプロセス 担当者:鈴木健二
9	6月8日	医薬品の創製と治験 担当者:鈴木健二
10	6月15日	薬剤師の活動分野 担当者:藤田隆司
11	6月22日	薬剤師の職務と責任 担当者:上島智
12	6月29日	薬害 担当者:藤田隆司
13	7月6日	チーム医療とコミュニケーション 担当者:角本幹夫
14	7月13日	社会保障と医療保険 担当者:細木るみこ
15	7月20日	薬剤師と資質、総括 担当者:浅野真司

<教科書・参考書>

【教科書】

教科書は指定しないが、プリント(レジュメ)、参考資料を適宜配布する。

【参考書】

『薬学教室へようこそ』二井将光(講談社 ISBNコード:978-4-06-257931-5(ブルーボックス))

『薬学へのいざない』滝哲也(東京化学同人 ISBNコード:978-4-8079-1289-6)

【備考】

『薬学教室へようこそ』(二井将光著)は、事前に読むことを強く薦める。
個々のテーマに関する参考書等については随時、紹介する。

【参考になる WWW ページ】

薬学教育モデル・コアカリキュラムと本学薬学部科目との対応表

(<https://secure.ritsumei.ac.jp/students/ph2/student/>)